

# *Shakespeare Newsletter*

日本シェイクスピア協会会報

2021 No. 1

(通巻 Vol. 61 No. 1)

# Shakespeare Newsletter

日本シェイクスピア協会会報

2021 No. 1  
(通巻 Vol. 61 No. 1)

## 目次

コロナ禍2年目を迎えて(会長挨拶)	1
2021年度シェイクスピア祭(オンライン)報告	2
2021年度日本シェイクスピア協会奨励賞発表	3
2021年度(通算第3回)シェイクスピア勉強会(オンライン)報告	4
ホームページ内「会員限定ページ」開設のお知らせ	5
第59回シェイクスピア学会(オンライン)のお知らせ	5
第60回シェイクスピア学会セミナーテーマ募集のお知らせ	6
60周年記念論文集刊行のお知らせ	7
2020年度決算報告	8
2021年度予算案	8
2020年度シェイクスピア基金会計報告・2020年度日本シェイクスピア協会 国際交流資金会計報告・2020年度懇親会費会計報告	9
シェイクスピア基金へのご寄附について	10
2021年度簡易会員名簿のお知らせ	10
国際交流フェロシップ募集のお知らせ	11
日本シェイクスピア協会ツイッターについて	11
ホームページ掲載内容に関するお知らせ	11
NOTICE BOARD	12
日本シェイクスピア協会賛助会員名簿	13

## コロナ禍 2年目を迎えて（会長挨拶）

末廣 幹

本年度より2年間、日本シェイクスピア協会の会長を務めることになりました。岩田美喜事務局長、会計担当の小町谷尚子先生と各部門の委員の先生方の頼もしいご協力とご支援を得ながら、協会の運営と活動の活性化に少しでも貢献したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

コロナ禍は2年目を迎えましたが、ワクチンの接種は進んではいるものの、COVID-19の感染拡大の波に繰り返し襲われており、依然として予断を許さない状態です。ポスト・コロナ禍を見据えたNew Normalという言葉が世間では流布していますが、このような状況下で、〈ポスト〉を語ることは時期尚早で、烏滯がましいように個人的には思っております。しかし、昨年以来大学を初めとする全国の学校でオンライン授業が常態化したことで、私たちが学んだことは多くあります。シェイクスピアがペストの流行と劇場閉鎖の危機に対峙しながらもつねに創作意欲を失わなかったように、私たちも、この災禍の経験で学んだアイデアやスキルを学会運営に活かしていきたいと思えます。

4月には協会初の試みとしてシェイクスピア祭をオンラインで開催しました。原英一先生のご講演ではエリザベス朝から19世紀の演劇までを文字通り縦横無尽に、そして鮮やかな口跡で語り尽くされ、聴衆として自分がどの時空間にいるのかを忘れさせられるほどでした。前会長の河合祥一郎先生の新訳・編集による戯曲リーディングではZoomのレイアウトを巧みに活かされた演出とおひとりで何役もこなされた俳優の皆さんの熱演に魅了されました。参加者の方々に直接お目にかかれなかったのは残念でしたが、オンラインのメリットを活かして全国の会員の皆様にご参加いただくことができました。

シェイクスピア祭に引き続いて、10月のシェイクスピア学会も初めてオンラインで開催します。学会当日不測の事態が発生して、参加者の皆様にご不自由な思いをさせないように、学会担当委員を中心に委員会では鋭意準備に当たっているとところです。

今年度から希望される会員の皆様にはメールで協会についての情報をご連絡していますが、さらに、ホームページ内に「会員限定ページ」を開設し、情報を発信することになりました。これらの新規事業によって、郵送料などの経費を削減すると共に、会員の皆様とのコミュニケーションのさらなる円滑化を図りたいと思っております。

それでは、10月のシェイクスピア学会においてZoom上で皆様にお目にかかれることを楽しみにしております。

## 2021年度 シェイクスピア祭 報告

2021年度シェイクスピア祭（日本シェイクスピア協会・日本英文学会共催）が、4月24日に行われた。恒例通りシェイクスピアの生誕を祝うのが慣わしとなっている4月23日（聖ジョージの日）近辺での開催である。新型コロナ禍の影響で、行事は岩田美喜氏（立教大学教授）司会のもと、オンラインによる開催（事前予約方式・一般公開）となったが、のべ176人の参加者があった。通常対面方式開催時に比べても遜色ない参加者であり、あらためて行事に対する期待度の高さがうかがえた。日本シェイクスピア協会委員交代直後の行事であり、ご尽力いただいた前委員諸賢、特に前担当の冬木ひろみ氏（早稲田大学教授）には深く御礼申しあげたい。

当日の演目は以下の通り。（詳細はホームページをご覧ください）

- 13:00 挨拶 末廣幹氏（日本シェイクスピア協会会長・専修大学教授）
- 13:10 講演 原英一氏（東北大学名誉教授・元東京女子大学教授）  
「役者の口跡と演技の変容〜ルネサンス期少年劇団から  
フランケンシュタインのモンスターまで」（質疑応答含む）。

録画は原氏のご厚意により以下のサイトで講演後も1年間オンライン公開されている。<https://www.s-sj.org/?p=5286>

- 戯曲リーディング 河合祥一郎氏（東京大学教授）  
＝新訳・演出『ヘンリー四世』のいくつかの場面より」

出演：仙崎貴子氏、白川哲次氏、梶原航氏、北澤小枝子氏、  
坂川慶成氏、今井仁美氏

録画は河合氏らのご厚意により、公演後も1ヶ月オンライン公開された。

- 16:20 閉会の辞 原田範行氏（日本英文学会会長・慶應義塾大学教授）

なお、今井仁美氏の突然の訃報が戯曲リーディング公演公開前（4月15日）に届いた。13日の戯曲リーディング録画確定のすぐ後であり、シェイクスピア祭では戯曲リーディング動画配信後に今井氏の訃報ならびにお悔やみが述べられた。この場を借りて、改めてお悔やみを申しあげたい。

（行事担当・野田学）

## 2021年度 日本シェイクスピア協会奨励賞発表

受賞論文：中谷 森「福田恆存訳『ハムレット』にみる翻訳を通じた文体創造」  
(*Shakespeare Journal*, vol. 7 [2021] pp. 41-54.)

4月24日に開催された選考委員会（メンバーは日本シェイクスピア協会委員14名、オンライン開催）の審議により、今年度の奨励賞は上記論文に授与されることが決定しました。

中谷森氏（京都大学こころの未来研究センター特定研究員）の論文は、福田恆存が『ハムレット』の翻訳作業において、いかに日本語独特の問題に取り組みながら劇言語を構築していったのか、その創造性と実験性を明らかにしたものです。1955年の福田恆存の翻訳と演出による文学座の『ハムレット』については、彼がオールド・ヴィック座で観たマイケル・ベントールの『ハムレット』のコピーに過ぎないという定説がありますが、本論文はそこから脱却し、演出についての「模倣」という評価を翻訳という「創造」的試みへと転換させる視点を示した上で、日本語の言語学的な観点も援用しながら福田訳の創作的側面を議論した点が新しく、受容史研究の新たな可能性を拓くものとして評価されました。

本論文は特に、冗長になりがちな日本語の語尾の屈折と、語り手の性別や感情が表出されがちな口語的文末終止形をどのように福田が克服し、緊張感のある一幕一場やオフィーリアの溺死が語られる四幕七場を訳出していったのか、その足跡を、原文や福田以前の翻訳と比較しながら具体的かつ説得力をもって分析している点が大いに評価できます。本論の執筆者が、今後さらに研究を深め、演劇研究の進展に貢献していくことへの期待を込めて奨励賞を授与することに決定しました。

奨励賞の選考は毎年度行われますので、新進研究者の会員のみなさまがさらに積極的に *Shakespeare Studies* と *Shakespeare Journal* に投稿してくださることを期待しております。

## 2021 年度（通算第 3 回） シェイクスピア勉強会（オンライン）報告

河合祥一郎

昨年度に引き続き、Zoom による会員限定のオンライン勉強会を 9 月 5 日（日）に実施した。ファシリテーターとして松岡和子先生をお呼びし、河合の進行で 13 時より 2 時間行い、全参加者 66 名を得、寄せられた多くの質問にその場で答えながら充実した時間を過ごした。テーマは、「シェイクスピアと翻訳」であり、まず、全訳を完成なされた松岡先生にシェイクスピア翻訳について短く語って頂き、21 年 7 月に国際シェイクスピア学会のラウンドテーブル「シェイクスピアと翻訳」の進行役であった河合はその学会の成果を報告した。そのあと、末廣会長が質問の先陣を切ってくださったおかげで、続いて多くの質問が寄せられた。

語り合ったいくつかの議題を例示すれば、以下のようなものがあった。

- ☆ Thou / You の訳し分け、女言葉や田舎言葉について、ダジャレについて
- ☆ 沈黙やテンポの訳し方、シェイクスピアの演出を想定することについて
- ☆ 注釈のつけ方について、上演に関わることで得られる発見について
- ☆ 当て訳について——ある特定の上演を想定して訳すのか、演じる俳優の個性を念頭に置くことで訳しやすくなるのか
- ☆ シェイクスピア自身が持っていた「翻訳」観あるいは、異言語（異文化）コミュニケーション観について

勉強会もすでに 3 回目となり、会員宛での郵送による通知や、協会のホームページの会員限定ページでの URL 告知など、会員への発信方法は軌道に乗ったかと思われる。今回はイギリスからの参加もあり（朝 5 時に起きて参加とのこと）、終了後早速「ノートを取り、質問もコピーしたが、いつか録音を YouTube などで見られると嬉しい」などの要望も事務局へ寄せられ、大きな手ごたえがあった。

このようにオンラインによって、居場所にかかわらず会員がつながることのできるこうした企画は、今後も続けていくことが大いに望ましいであろう。継続することで、会員がこうした会への参加を楽しみにして積極的な参加がなされるようになれば、協会活動の大きな柱ともなりえるのではないだろうか。

最後に、多大な協力をしてくださった松岡和子先生、ご挨拶や質問をしてくださった末廣幹会長、そして参加してくださった会員の皆様に感謝したい。

## 協会ホームページ内の「会員限定ページ」開設のお知らせ

日本シェイクスピア協会では、2021年8月より協会ホームページ内に**会員限定のページ**を開設いたしました。

会員限定ページはログインIDとパスワードで管理され、このページには協会が催すオンライン行事のアクセス情報など、会員限定の情報を随時掲載してまいります。

このページへのログインIDについては、会員の皆様が協会事務局に登録された電子メールアドレスを使用し、パスワードはすでに事務局よりログインIDであるご登録アドレスへ、一斉送信させていただいております（会費納入会員限定）。

また、これを機会に新たにメールアドレスを登録したい、アドレスを登録したはずだが登録アドレスが分からない、会費納入済みにもかかわらずパスワードに関する連絡を受信した記憶がないなどの場合には、事務局（shakespeare-japan@nifty.com）までご一報いただければ幸いです。

## 第59回シェイクスピア学会のお知らせ

2020年度に延期となりました第59回シェイクスピア学会は、2021年10月9日（土）、10日（日）に、オンライン（Zoom）で開催いたします。詳細はホームページをご覧ください。

研究発表、特別講演、セミナーにご参加いただくための情報はそれぞれ異なります。Zoomのリンク先など詳細につきましては、10月1日以降に協会ホームページ内の会員限定ページやメール等でお知らせいたします。

なお、通常は一般公開しております特別講演も、今回は会員限定となりますことをご了承ください。

## 第 60 回シェイクスピア学会セミナーテーマ募集のお知らせ

第 60 回シェイクスピア学会は、2022 年 10 月に開催予定です。開催方法や日程については現在調整中ですが、確定次第、*Shakespeare Newsletter* およびホームページでお知らせいたします。

第 60 回シェイクスピア学会でのセミナーのテーマを下記のように募集いたします。ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。

### 応募要項

1. 次の (A)、(B) について (片方でも可)、E メールまたは FAX を用いて、「日本シェイクスピア協会事務局」あてにご応募ください。

- (A) セミナーで取り上げて欲しいテーマ  
(コーディネイター名も、もしあればお書きください)
- (B) ご自分で企画・運営したいセミナーとそのテーマ

2. 締切は **2021 年 10 月 31 日 (日) 正午** です。

3. ご提案を含めて委員会で検討のうえ、セミナーを複数設定いたします。

4. セミナーの内容・セミナーメンバー募集については、2022 年 3 月までに *Shakespeare Newsletter* やホームページでご案内いたします。

5. 送信および送付先は以下のとおりです。

- ① E メール：ssj-conference@nifty.com  
(標題に「2022 セミナーテーマ案」と記してください)
- ② FAX：03-5454-4813
- ③ 郵送：〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1  
東京大学(超域) 河合祥一郎研究室内  
日本シェイクスピア協会事務局



## 60周年記念論文集刊行のお知らせ

日本シェイクスピア協会の創立 60 周年を記念する論文集『シェイクスピアとの往還—日本シェイクスピア協会創立六〇周年記念論集』が 2021 年 10 月 26 日（火）に研究社より刊行される予定です。総頁数は 280 頁（予定）、価格は税抜き 3,800 円（予価）です。様々な視点から個々の作品を分析した作品論をはじめ、出版や版本を取り巻く事情や日本における受容など、会員による多彩な論文が収録されています。是非ご購入の上ご高覧いただきますよう、お願い申し上げます。

### 掲載論文（著者名 50 音順）

- 五十嵐博久 『尺には尺を』における権力とエクイティ  
 内丸公平 シェイクスピアを教える夏目漱石  
     —「マクベスの幽霊に就て」から  
     「坪内博士と『ハムレット』」へ
- 河合祥一郎 シェイクスピア初期版本の話者表示（Speech-prefix）  
 川野真樹子 二人の「オフィーリア」  
     —堀正旗『ハムレット現代に生きなば』（一九三〇）に  
     おける女性像
- 佐野隆弥 シェイクスピアを諷刺する  
     —パルナッツス劇と世紀転換期の諷刺文化
- 篠崎実 『嘆かわしい一幕』  
     —『リチャード二世』の退位のエピソードをめぐって
- 杉浦裕子 "Hark, who is't that knocks?"  
     —『オセロー』四幕三場のノックの音についての一考察
- 鶴田学 イングランド中部地方を鍵に読み解く『ジョン王』  
 英知明 ある詩人のファースト・フォリオ — 一七世紀の旧蔵本  
 前原澄子 『お気に召すまま』における修辞のパロディ  
 松田幸子 母とは呼べない、もはや墓場だ  
     —『マクベス』と死せるスコットランド
- 森祐希子 植物誌・園芸書と『リチャード二世』の庭

**2020年度 決算報告** (2021.3.31)

## 【収入の部】

会費	¥	3,840,848
雑収入		61,343
シェイクスピア祭共催金 (日本英文学会)		0
学会協賛金		0
学会時書店出店料 (賛助会員以外)		0
.....		
小計	¥	3,902,191
.....		
前年度繰越金	¥	7,065,151
.....		
合計	¥	10,967,342
(収入計+繰越金)		

## 【支出の部】

<i>Shakespeare Studies</i>	¥	335,102
(送送料金含む)		
<i>Shakespeare Journal</i>		338,650
(NL 関連/送送料金含む)		
シェイクスピア祭		150,540
シェイクスピア学会		16,357
(小委交通費含む)		
シェイクスピア勉強会		16,327
奨励賞		32,131
委員会費		0
事務局経費		40,640
(PC 積立金なし)		
HP 運営費		54,218
(管理費含む)		
事務局人件費		835,737
一般印刷費		53,117
通信郵送費		190,492
交通費		16,250
委員選挙費用		0
(2019年度引当金内で収まる: 残金 36,195 は次回へ)		
消耗品費		49,957
予備費		33,000
.....		
小計	¥	2,162,488
.....		
基金への繰入れ	¥	1,000,000
.....		
次年度への繰越金	¥	7,804,854
.....		
合計	¥	10,967,342
(支出計+繰入金+繰越金)		

**2021年度 予算案** (2021.4.24)

## 【収入の部】

会費	¥	3,600,000
雑収入		40,000
シェイクスピア祭共催金 (日本英文学会)		0
学会協賛金		0
学会時書店出店料 (賛助会員以外)		0
.....		
小計	¥	3,640,000
.....		
前年度繰越金	¥	7,804,854
.....		
合計	¥	11,444,854
(収入計+繰越金)		

## 【支出の部】

<i>Shakespeare Studies</i>	¥	470,000
(送送料金含む)		
<i>Shakespeare Journal</i>		470,000
(NL 関連/送送料金含む)		
シェイクスピア祭		173,000
シェイクスピア学会		150,000
(小委交通費含む)		
シェイクスピア勉強会		80,000
奨励賞		35,000
委員会費		2,000
事務局経費		70,000
(PC 積立金なし)		
HP 運営費		60,000
(管理費含む)		
事務局人件費		839,000
一般印刷費		87,000
通信郵送費		270,000
交通費		50,000
委員選挙費用(引当金)		100,000
.....		
小計	¥	3,016,000
.....		
基金への繰入れ	¥	624,000
.....		
次年度への繰越金	¥	7,804,854
.....		
合計	¥	11,444,854
(支出計+繰入金+繰越金)		

[註]NL = *Shakespeare Newsletter* の略

**2020年度 シェイクスピア基金  
会計報告** (2021.3.31)

【収入の部】

前年度繰越金	¥	3,637,790
寄附		102,000
『新編シェイクスピア案内』売上分 (源泉税引後)		11,674
『甦るシェイクスピア』電子書籍分 (源泉税引後)		8,605
利息		68
一般会計より		1,000,000
計	¥	4,760,137

【支出の部】

事務局移転関連	¥	64,000
60周年記念論文集関連		4,837
寄附関連		441
計	¥	69,278
2020年度残高	¥	4,690,859

**2020年度 日本シェイクスピア協会  
国際交流資金会計報告** (2021.3.31)

【収入の部】

前年度繰越金	¥	
(国際交流フェローシップ以外)		1,926,941
(国際交流フェローシップ)		4,820,844
利息		
(国際交流フェローシップ以外)		4
(国際交流フェローシップ)		40
計	¥	6,747,869

【支出の部】

	¥	0
2020年度残高	¥	6,747,869

**2020年度 日本シェイクスピア協会  
懇親会費会計報告** (2021.3.31)

【収入の部】

前年度繰越金	¥	71,889
懇親会費		0
計	¥	71,889

【支出の部】

懇親会会場支払	¥	0
振込手数料 (指定口座宛)		0
計	¥	0

¥2020年度残高 71,889

## シェイクスピア基金へのご寄附について

日本シェイクスピア協会では、円滑な事業運営や新規事業の推進のため、ご寄附をお願いしております。

2021年3月1日から8月31日までに皆様からお寄せいただいたご寄附の総額は、601,500円となりました。ご寄附いただいた方々のお名前をここにご報告させていただき、皆様のご理解とご協力に対して、心より御礼申し上げます。

### 寄附者名簿

(会員：50音順) 安達まみ様、関場理一様、根岸愛子様、  
山田昭廣様

(特別) ほぼ日の学校イベント「松岡和子さんが語るシェイクスピアの言葉」ご参加者一同様 \*\*\* (註)

\*\*\* (註) 2021年5月30日(日) 株式会社 ほぼ日主催、  
松岡和子先生シェイクスピア全巻翻訳完成記念講演への参加者が、松岡先生の私物(シェイクスピア関連品)を購入された全額をご寄附いただきました

## 2021年度簡易会員名簿のお知らせ

2022年2月に『2021年度簡易会員名簿』刊行を予定しております。つきましては、『2019年度簡易会員名簿』からご所属などの変更がある場合は、2022年1月31日(火)までに事務局までご連絡ください。2022年4月以降に変更が決まっている場合も、予定としてご連絡ください。特にご連絡がない場合は、『2019年度簡易会員名簿』と同じ内容で掲載させていただきます。

## 国際交流フェローシップ募集のお知らせ

審査時期は4月、10月の年2回ですが、応募要件に記されている通り、参加を予定している学会の開催日より2ヶ月前以前の応募であれば、審査の対象となり、さかのぼっての支給となる場合もあります。詳細については当協会のホームページをご覧ください。

## 日本シェイクスピア協会ツイッターについて

日本シェイクスピア協会の「ツイッター」アカウントでは、ホームページ掲載情報の告知や学会時のプログラム等に関する情報提供、協会の活動に関するお知らせを、協会会員並びに一般向けに発信しております。協会ホームページと併せて、ぜひご覧ください。

日本シェイクスピア協会 Twitter URL : <http://twitter.com/tcetu>

## ホームページ掲載内容に関するお知らせ

以下については、日本シェイクスピア協会ホームページをご覧ください。ご要望があった場合は随時、コピーをとってお送りいたします。

規約全文、シェイクスピア祭報告詳細、学会セミナー報告、シェイクスピア・ワークショップ報告、国際交流フェローシップ応募要項、*Shakespeare Studies* 投稿規程、*Shakespeare Journal* 投稿規程、日本シェイクスピア協会奨励賞規程、入会案内。

## Notice Board

◆ 2021年3月2日 *Shakespeare Newsletter* 2020 (通巻 Vol.60) No.2 を刊行。

◆ 2021年3月25日 *Shakespeare Journal* Vol. 7 (通巻 60) を刊行。

◆ 2021年3月25日 *Shakespeare Studies* Vol. 59 を刊行。

◆ 2021年3月27日 2020年度臨時委員会および2021年度からの新委員との引継ぎ会を開催(オンライン)。

◆ 2021年4月5日 2021年度シェイクスピア祭(オンライン開催)に関する情報を会員登録メールアドレスに向けて一斉送信。

◆ 2021年4月16日 2020年度会計監査(オンライン開催)。

◆ 2021年4月24日 2021年度第1回定例委員会、日本シェイクスピア協会奨励賞選考委員会、および総会を開催(オンライン開催)。委員会の審議事項は以下の通り。1) 2020年度事業報告および2021年度事業計画について 2) 2020年度決算報告及び会計監査報告 3) 2021年度予算案 4) 2021年度委員会日程 5) 2021年度学会の実施形態について 6) 2021年度以降のシェイクスピア勉強会について 7) その他(各部門の情報共有について)

◆ 2021年度委員業務分担及び監事その他は以下の通り(敬称略)。

(会長) 末廣幹

(総務) 岩田美喜[事務局長]、小町谷谷子[財務]

(学会) 本多まりえ(チーフ)、大島久雄、西出良郎、(小町谷谷子)

(*Shakespeare Studies*) 中村未樹(チーフ)、米谷郁子、鶴田学、(内丸公平)

(*Shakespeare Journal*) 杉浦裕子(チーフ)、芦津かおり、石橋敬太郎、高森暁子

(行事) 野田学

(ホームページ) 内丸公平

(監事) 石塚倫子、佐々木和貴

(*Shakespeare Newsletter*) 総務、事務局(組版)

◆ 2021年4月24日 2021年度日本シェイクスピア協会奨励賞選考委員会を開催(オンライン開催)。中谷森氏「福田恆存訳『ハムレット』にみる翻訳を通じた文体構造」(*Shakespeare Journal* 第7号掲載)に対し、授与することを決定した。詳細については本文記事を参照。

◆ 2021年4月24日 2021年度総会を開催(オンライン開催)。太田一昭氏が議長に選出されたのち、以下の議題について審議が行われ、委員会から提出された議案が承認された。1) 2020年度事業報告および2021年度事業計画について 2) 2020年度決算報告及び会計監査報告 3) 2021年度予算案 4) 2021年度委員会日程 5) 2021年度学会の実施形態について 6) 2021年度以降のシェイクスピア勉強会について 7) その他(各部門の情報共有について)

◆ 2021年4月24日 2021年度シェイクスピア祭を開催(日本英文学会との共催でオンライン開催)。詳細については本文記事を参照。

◆ 2021年7月3日 第2回定例委員会を開催(オンライン開催)。議題は以下の通り。1) 研究発表応募の判定 2) セミナーメンバーの確定 3) オンライン学会の実施方法について 4) その他

◆ 2021年7月10日 勉強会の詳細ならびにホームページ内「会員限定ページ」に関する通知を会費納入会員宛に送付。

◆ 2021年8月11日 ホームページ内「会員限定ページ」開設。

◆ 2021年8月12日 「会員限定ページ」用パスワードを登録メールアドレスへ一斉送信（郵送希望者へは封書で送付）。

◆ 訃報。会員の今西雅章氏が8月15日に死去された。享年 88。帝塚山学院大学名誉教授で、関西シェイクスピア研究会所属。主著に『シェイクスピア劇と図像学：舞台構図・場面構成・言語表象の視点から』等がある。

◆ 2021年8月30日 第59回学会プログラムを会員に発送。

◆ 2021年9月5日 2021年度（通算第3回）シェイクスピア勉強会開催。

◆ 2021年9月10日 *Shakespeare Newsletter* 2021（通巻 Vol.61）No.1 を刊行。

\*\* 日本シェイクスピア協会ではこれまで、委員経験者（およびそれに準じる方）の訃報を会員の皆様にお知らせしてまいりました。2021年度より、訃報を掲載する対象者を広げ、会員のご逝去を協会事務局までお知らせいただきました際には、訃報の記事を本会報欄に掲載する方針に変更いたしました。

## 日本シェイクスピア協会賛助会員名簿（五十音順）

株式会社 あさ出版  
板橋演劇センター  
エディション・シナプス  
カルチャヴィル合同会社  
劇団山の手事情社／(有)アップタウンプロダクション  
株式会社 研究社  
プロクエスト日本支社  
丸善出版株式会社 広告・宣伝部

※賛助会員がシェイクスピア祭、勉強会、および学会等で配布予定であったパンフレット類は、協会のホームページからダウンロードできます。

**SHAKESPEARE NEWSLETTER**

日本シェイクスピア協会会報  
2021 (通巻 Vol. 61 No. 1)

2021年9月10日発行

編集 日本シェイクスピア協会

発行人 末廣 幹

発行所 東京都目黒区駒場 3-8-1  
東京大学 (超城)

河合祥一郎研究室内

日本シェイクスピア協会

印刷 日本シェイクスピア協会

© 日本シェイクスピア協会 2021